

令和7年度重点目標達成のための行動計画（アクションプラン）

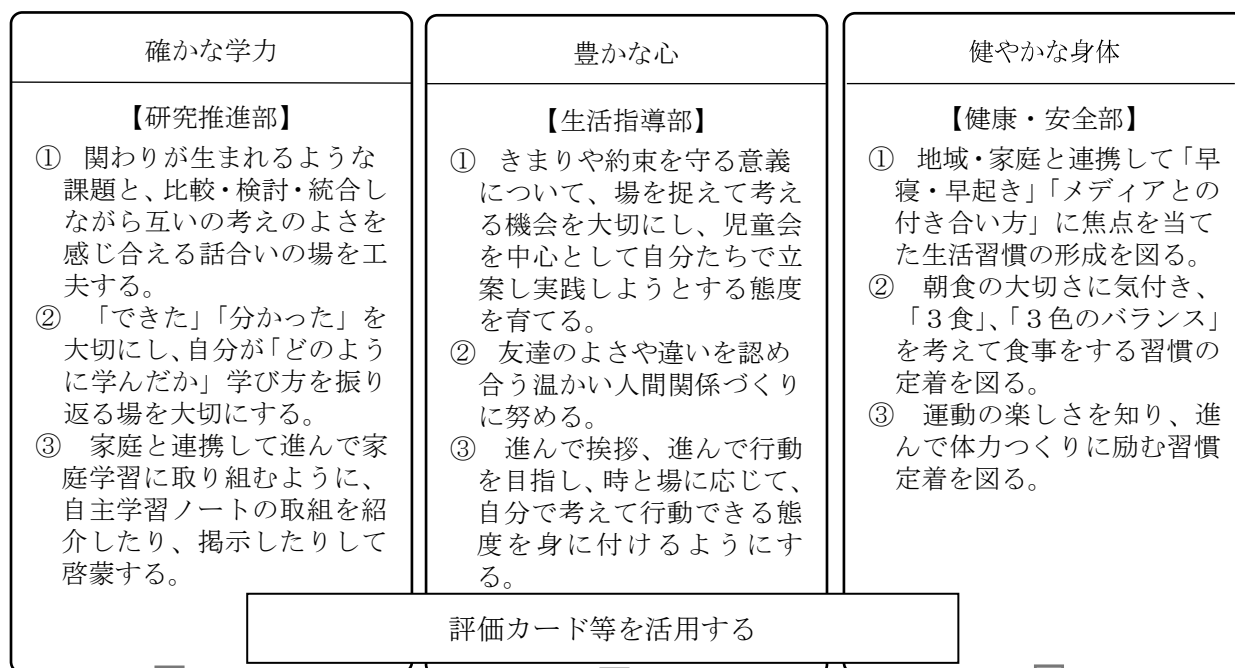
具体的な達成目標

【知】進んで考え、学び合う子	(自己評価80%以上)
【徳】互いを認め、支え合う子	(自己評価80%以上)
【体】生活を見つめ、きたえ合う子	(自己評価80%以上)

前年度

昨年度は、徳の項目「自分と相手を大切にする児童」において、達成目標の85%を上回った。一方「進んで学習に取り組む児童」「進んで健康的な生活をする児童」は、中間評価よりもさらに1～2ポイント低く、自宅で過ごす時間において課題がみられ、その中にはメディアとの付き合い方が要因の一つとなっていることが考えられる。今年度は目指す児童の姿をブラッシュアップし、目標を改め3つの部会（研究推進部、生活指導部、健康・安全部）等での各取組をPDCAサイクルで評価・分析を行い、学校教育目標の達成に向けて教職員がチームになって取り組むことが大切である。

行動Ⅰ

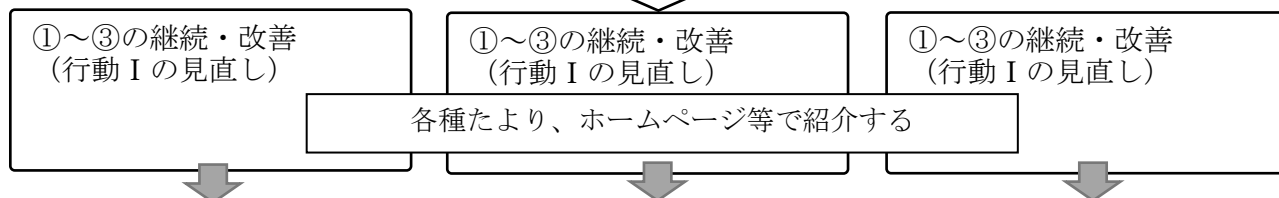


中間評価

- ・1学期末に保護者、児童、教職員によるアンケートを基に取組の評価を行う。
- ・2学期始めの各種たより等で結果を公表する。
- ・学校評議員会等において評価結果に対する意見を聞く。

3つの部会研修及び担当者で評価結果を分析し、目標値の修正や、具体的な改善策を講じる。

行動Ⅱ



年度末評価

- ・2学期末に保護者、児童、教職員によるアンケートを基に取組の評価を行う。
- ・3学期始めの各種たより等で結果を公表する。
- ・学校評議員会等において評価結果に対する意見を聞く。

次年度

年度末の評価結果や児童の実態を基にして、3つの部会（研究推進部、生活指導部、健康・安全部）、及び担当者で年間評価を行い、次年度の重点目標やアクションプランの案を作成する。